

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第13週の発生動向

全数報告の感染症 (13週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：急性脳炎 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・病名	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
		日南	80歳代	男	肺結核	発熱
			80歳代	女	疑似症患者	咳、痰
5類	急性脳炎	宮崎市	0~4歳	女	ロタウイルス	発熱、痙攣、意識障害、MBP高値、IgG index上昇など
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	50歳代	男	AIDS	発熱、全身倦怠感、呼吸不全 指標疾患:カンジダ症、サイトメガロウイルス感染症
	梅毒	高鍋	50歳代	男	無症状病原体保有者	—

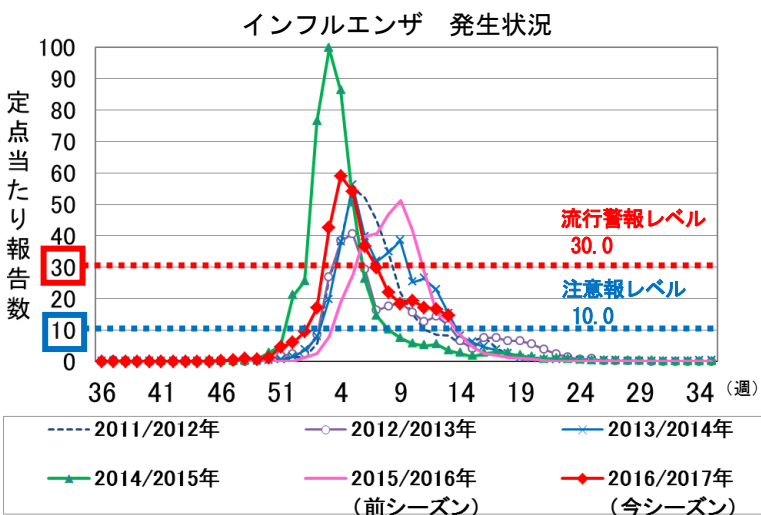
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,411 人 (定点当たり 31.2) で、前週比 95%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

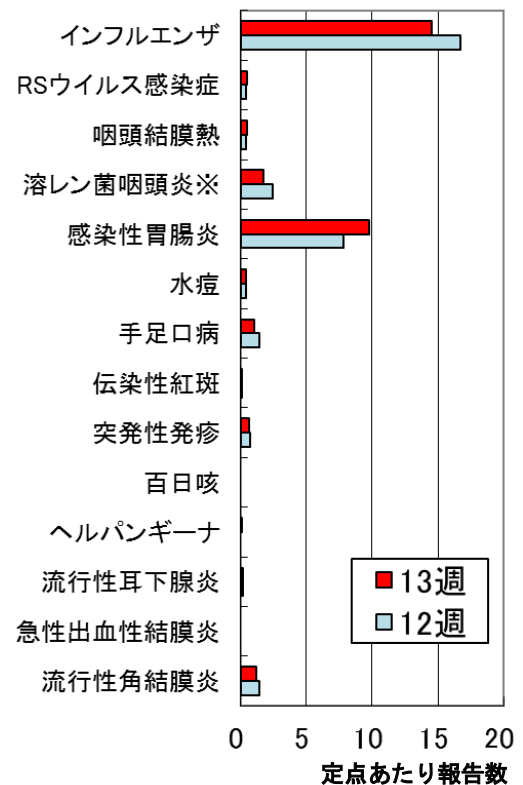
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は 859 人 (14.6) で、前週比 87%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (10.0) の約 1.5 倍であった。小林 (34.2)、日南 (18.0)、宮崎市 (15.1) 保健所からの報告が多く、年齢別は 5~9 歳が全体の約 4 割を占めた。



《前週との比較》



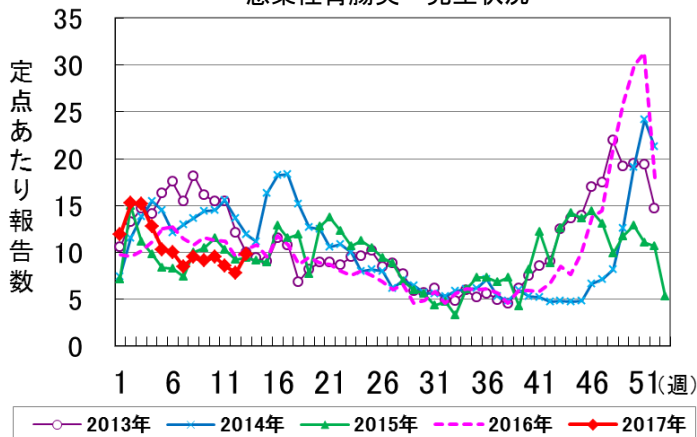
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【感染性胃腸炎】

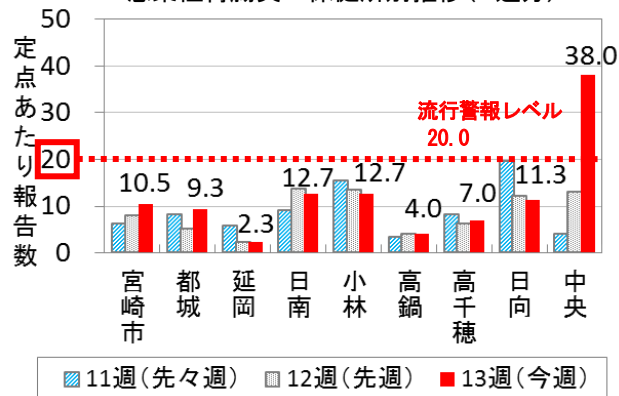
報告数は 352 人 (9.8) で、前週比 125%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (10.6) の約 0.9 倍であった。中央 (38.0)、日南、小林 (各 12.7) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~4 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：日向(2例)保健所から報告があった。
0~4歳で病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(15.1)
都城	インフルエンザ(12.6)
延岡	インフルエンザ(11.7)
日南	インフルエンザ(18.0)
小林	インフルエンザ(34.2)、手足口病(6.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(11.5)
中央	感染性胃腸炎(38.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

流行注意報レベル基準値

- ・インフルエンザ(10.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 12 週の発生動向

□ 全数報告の感染症(全国第12週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	273 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	デング熱	6 例	レジオネラ症	58 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	65 例	水痘(入院例)	2 例
	梅毒	52 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	風しん	2 例	麻しん	5 例		

麻しんの報告数は5例で前週比約0.6倍と減少した。東京都(3例)、山形県、滋賀県(各1例)から報告があった。九州地方からの報告はなかった。年齢別では10歳代が3例、20歳代と30歳代が各1例ずつであった。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比81%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は38,231人(7.7)で前週比75%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(11.4)の約0.7倍であった。福島県(17.7)、沖縄県(17.2)、宮崎県(16.7)からの報告が多く、年齢別では5~9歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第13週(3月27日～4月2日)

疾病名		第12週	第13週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	985	859	241	126	82	90	171	55	14	69	11
	定点あたり	16.69	14.56	15.06	12.60	11.71	18.00	34.20	9.17	7.00	11.50	5.50
RSウイルス 感染症	報告数	15	19	2	6	1	2		4		4	
	定点あたり	0.42	0.53	0.20	1.00	0.25	0.67	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	19	8	2	3	5				1	
	定点あたり	0.42	0.53	0.80	0.33	0.75	1.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	88	63	25		2	10	3	14	2	4	3
	定点あたり	2.44	1.75	2.50	0.00	0.50	3.33	1.00	3.50	2.00	1.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	282	352	105	56	9	38	38	16	7	45	38
	定点あたり	7.83	9.78	10.50	9.33	2.25	12.67	12.67	4.00	7.00	11.25	38.00
水痘	報告数	14	15	3			2	4	6			
	定点あたり	0.39	0.42	0.30	0.00	0.00	0.67	1.33	1.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	53	39	1	15		1	19	1			2
	定点あたり	1.47	1.08	0.10	2.50	0.00	0.33	6.33	0.25	0.00	0.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	4	5	1		2	1				1	
	定点あたり	0.11	0.14	0.10	0.00	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	27	23	9	4	2	1	3	1	1	1	1
	定点あたり	0.75	0.64	0.90	0.67	0.50	0.33	1.00	0.25	1.00	0.25	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		3	1	1		1					
	定点あたり	0.00	0.08	0.10	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	6		1	1			3		1	
	定点あたり	0.17	0.17	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	6	5	1							
	定点あたり	1.40	1.20	2.50	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	6	2								2	
	定点あたり	0.86	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		2.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～13週)

2類感染症	結核	58例(3)				
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	6例	レジオネラ症	2例
	急性脳炎	2例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	3例(1)
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	梅毒	5例(1)
	破傷風	1例				

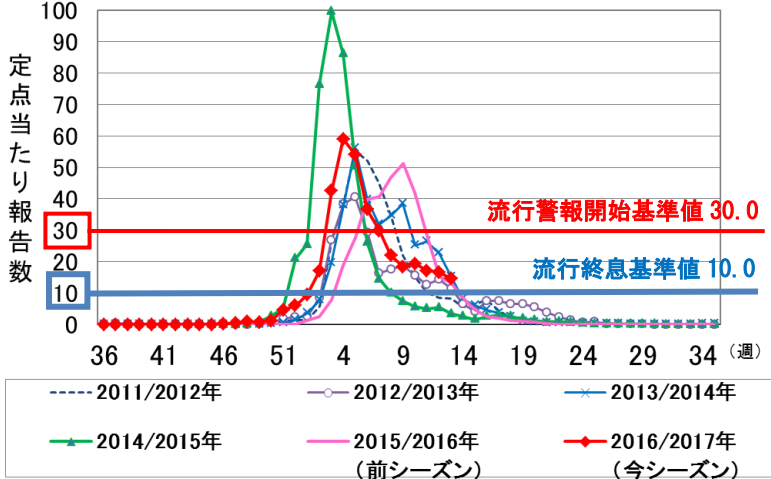
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第13週、全国第12週（再掲）》

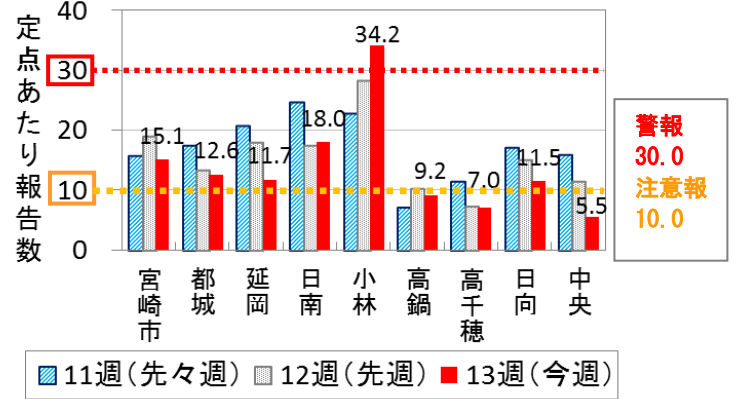
□ 県内第13週インフルエンザ発生動向

2017年3月27日～4月2日までの1週間で859人（定点あたり14.6）の報告があった。前週の約0.9倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*（10.0）の約1.5倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の23%、5-9歳が36%、10-14歳が15%、15-19歳が3%、20-59歳が18%、60歳以上が5%を占めた。（図3）

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）

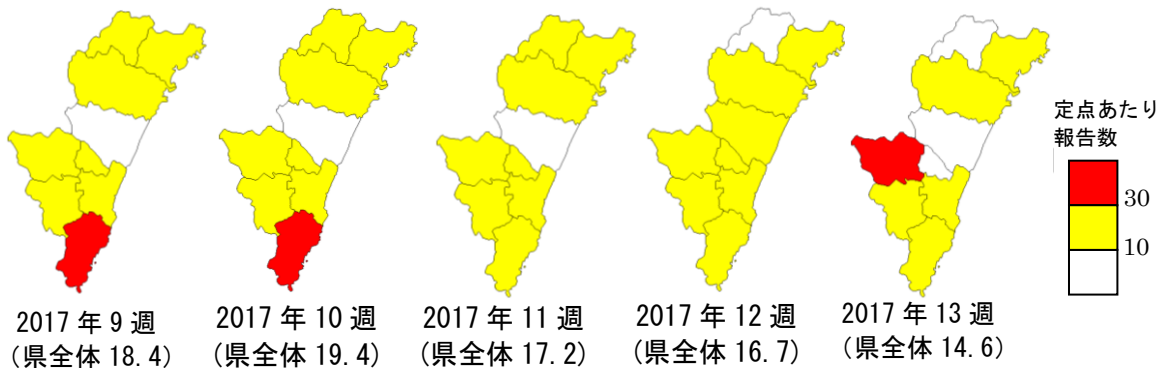


（図3）年齢群別割合の推移（2017年第9週～第13週）

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
9週 1,087人	25%	28%	16%	3%	19%	9%
10週 1,142人	24%	31%	16%	5%	18%	6%
11週 1,013人	21%	32%	17%	5%	17%	8%
12週 985人	17%	34%	20%	5%	17%	7%
13週 859人	23%	36%	15%	3%	18%	5%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 □ 10～14歳 □ 15～19歳 □ 20～59歳 □ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2017年第9週～第13週



□ 全国第12週インフルエンザ発生動向

2017年3月20日～3月26日までの1週間で38,231人（7.7）で前週比75%と減少した。福島県（17.7）、沖縄県（17.2）、宮崎県（16.7）からの報告が多い。年齢別では5歳未満が全体の18%、5-9歳が28%、10-14歳が17%、15-19歳が5%、20-59歳が23%、60歳以上が9%であった。